

学校沿革の概要

明治6.6・7	柚木学舎(柚木村・円光院)、勉習学舎(畑中村・地藏院)、好文学舎(下村・天澤院)、和田学舎(日影和田村・徳昌寺)開校	昭和47.12	「少年の像」建立
明治8.6	神奈川県合通達により、それぞれの学舎を柚木学校、畑中学校、下村学校、日影和田学校と改称	昭和48.3	隣接の第四中学校が廃校。校地と体育館を本校に併合
明治10.6	四つの学校を統合して江南学校(本校の現位置)とし、畑中支校、柚木支校を置く。	昭和49.3	創立100周年記念式典挙行。記念碑建立
明治12.7	江南学校から分離し、柚木学校(柚木村)、中和学校(畑中村と日影和田村の連合)となる。	昭和49.8	校舎増築工事着工(南側校舎)。50年3月完成
明治14.7	柚木学校の校舎新築(円光院敷地内)	昭和50.3	創立100周年記念庭園完成
明治15.12	日影和田村の児童は中和学校から江南学校へ編入	昭和51.3	旧梅郷地域市民館跡地が学級園になる。
明治16.4	畑中学校の校舎新築(現畑中公会堂地)	昭和52.4	青梅市特別活動指定校となる。
明治19.4	畑中学校が江南学校の畑中分教場となる。	昭和54.11	「よい歯の学校」として表彰(昭和57・58・59・60年度、平成元年度も同様)
明治22.4	畑中村、日影和田村、下村、柚木村の4か村が合併し、吉野村となる。	昭和55.4	20代校長 二瓶 道男 就任
明治25.4	江南学校を吉野尋常小学校と改称	昭和59.12	創立110周年記念誌発行。航空写真撮影
明治29.11	吉野尋常小学校に高等科を併設	昭和61.4	21代校長 島田 辰也 就任
明治30.8	初代校長 並木 左傳 就任	平成2.4	22代校長 八木 光次 就任
明治36.4	2代校長 岡本 竹次 就任	平成2.11	体育館改築工事着工。3年10月完成
明治38.4	3代校長 小出 簇 就任	平成3.5	校歌碑建立。清水力三文庫設置
明治39.5	4代校長 青山 鹿藏 就任	平成5.5	創立120周年記念行事実施。航空写真撮影
明治40.7	柚木学校を廃し、柚木分教場とする。	平成6.4	23代校長 吉原 光博 就任
明治41.10	5代校長 河野 末吉 就任	平成7.11	青梅市研究協力校研究発表校として国語科の研究発表
明治43.	校章制定(桜の花をかたどる)	平成9.3	校庭の岩石を職員室前に移動
明治45.4	6代校長 沖倉 與一 就任	平成11.4	24代校長 平野 行子 就任
大正11.3	7代校長 佐藤 兵吾 就任	平成12.3	「学童水泳優秀小学校」として全国水泳連盟より表彰
大正13.5	現校地に校舎を新築(東校舎)し、堀之内校舎を仮校舎として使用	平成14.7	臨海学校廃止に伴い、日光移動教室実施
大正15.3	8代校長 藤野 吉次 就任	平成15.8	「感謝」の碑(清水力三氏)建立。創立130周年記念集会
昭和5.10	校歌制定	平成16.4	25代校長 邑上 裕子 就任
昭和6.7	9代校長 市村 福藏 就任	平成17.9	校内無線LANシステム導入
昭和8.5	10代校長 長田 市郎 就任	平成17.11	青梅市研究指定校として算数科の研究発表
昭和9.	栄養給食を開始。学校農園運営で勤労教育を兼ねる。	平成19.4	26代校長 仁藤 茂則 就任
昭和13.1	11代校長 瀧島 良吉 就任	平成20.7	「子どもと親の相談員」等活用事業調査委託事業実施
昭和14.5	西校舎を増築。畑中・柚木両分教場を改築。落成式挙行(開校記念日の根拠)	平成20.7	校舎耐震補強工事着工。同年10月完成
昭和16.4	東京府西多摩郡吉野国民学校と校名変更	平成21.4	文部科学省外国語活動研究指定校となる。
昭和16.7	12代校長 増毛 光一 就任		東京都スクールカウンセラーの配置
昭和17.	「郷土の観察」の研究指定校となる。	平成21.6	おうめ放課後子ども教室「タマケランド」開始
昭和18.7	東京都西多摩郡吉野村立吉野国民学校と校名変更	平成22.2	文部科学省研究指定校として外国語(英語)活動の研究発表
昭和21.3	13代校長 福島 修一 就任	平成23.1	青梅市小学校英語活動推進モデル校として英語活動の研究発表
昭和22.4	新学制発足。西多摩郡吉野村立吉野小学校と校名変更	平成24.4	27代校長 根本 美恵子 就任
昭和23.9	14代校長 榎本 武三 就任	平成24.8	普通教室および音楽室の空調設備完成
昭和25.4	学校図書館を設置	平成24.11	東京都「子供の体幹を鍛える」研究協力校
昭和27.10	15代校長 山崎 彦尚 就任	平成25.4	東京都平成25年度言語能力向上推進校指定
昭和30.4	町村合併により、吉野村は青梅市に合併 青梅市立第五小学校と校名変更	平成25.9	創立140周年記念集会実施。航空写真撮影 「五小ふるさと室(五小歴史館)」設置
昭和31.3	学校文集「うめのさと」創刊	平成26.4	東京都平成26年度言語能力向上拠点校指定
昭和33.	東京都道徳研究指定校となる。	平成27.4	28代校長 徳長 邦彦 就任
昭和34.3	青梅市研究指定校として社会科の研究発表		畑中・柚木地区バス通学が全学年に拡大
昭和35.4	16代校長 榎本 直亮 就任	平成27.10	東京都教育委員会言語能力向上拠点校・青梅市教育委員会研究指定校として研究発表
昭和37.9	プール完成	平成28.4	オリンピック・パラリンピック教育重点校指定
昭和38.9	特別教室(理科、音楽)完成	平成29.5	特別支援教室「わかすぎ」開設
昭和38.11	創立90周年式典挙行。記念誌発行	平成29.11	梅の里再生事業で校内に梅の苗木植樹
昭和39.4	17代校長 來住野 元一 就任	平成30.4	29代校長 中嶋 太 就任
昭和41.3	給食室完成	令和2.3・4・5	臨時休校(新型コロナウイルス感染防止のため)
昭和41.4	18代校長 小川 淳 就任	令和3.3	学習用端末一人1台配付
昭和42.4	放送室新設	令和3.4	30代校長 刀禰 浩子 就任
昭和43.4	青梅市算数研究指定校となる。	令和3.9	空調機器の特別教室設置と管理棟更新
昭和44.4	19代校長 宮澤 福次郎 就任	令和5.11	創立150周年記念式典挙行。記念誌発行
昭和44.10	校舎改築第1期工事着工。45年3月完成	令和6.4	31代校長 松井 良 就任
昭和45.6	校舎改築第2期工事着工。46年3月完成	令和8.1	青梅市教育委員会研究指定校 研究発表会
昭和46.3	畑中・柚木両分校を廃止し本校に統合。鉄筋コンクリート造校舎完成(児童全員が本校で学ぶ体制確立)	令和8.4	32代校長 大西 浩之 就任
昭和46.4	分校廃止により畑中・柚木地区1・2年生はバス通学		
昭和46.5	青梅市主催の校舎落成式挙行		